



スクールミッション

「自主・健康・民主」を目標とし、高大連携や地域と協働した探究的な学び、基礎学力の定着、家庭や関係機関と連携した指導計画、部活動や学校行事、国際交流事業といった教育活動を通じて、社会の変化に適応するとともに、社会の一員として必要な基本的能力を有し、能力を十分に活用する人間を育成します。

【生徒の現状】 八丈高（定）の教職員からみた生徒像

- 島内、島外中学校からの入学生、本校全日制からの転籍生など、新たな人間関係の構築とコミュニケーション能力の育成が期待されている。
- 生徒の多くは日中就労しながら定時制課程において学業に専念している。
- 小・中学校時代に不登校を経験している生徒が多く、基礎学力の個人差等に問題がある。

【学校・地域の現状】

- じっくり ゆっくり 分かるまで、生徒一人一人にあわせてきめ細かな少人数指導である。
- 「島しょ地区ICT活用事業モデル校」「防災教育研究指定校」として質の高い活動を学校行事および授業を通じて取り組んでいる。
- 少子高齢化問題、人口減少傾向による生徒数の減少。
- 地域との強い結びつきと、一人暮らし生徒の支援体制構築がある。

【教育目標】 「自主・健康・民主」

- (1) 予想される社会の変化
AI利用により新たな職業が生み出される。情報過多の社会で適切な情報を取捨選択し適切な情報をもとに充実した生活を送ることが重要である。
- (2) 予想される地域の変化
○人口減少・少子高齢化
○歴史や伝統文化の継承者不足
○医療問題
○多様な人々との共生 多様化社会
○インフラの老朽化 自然環境の変化
- (3) 八丈町基本構想（令和3年度～12年度）
八丈町基本計画（令和3年度～7年度）、「共創」「教育大綱」
○地域主権改革・地方分権改革による、自己決定と自己責任による自治体運営が求められ、基礎自治体としての行財政基盤の確立が必要となっている。
○東日本大震災や伊豆大島土砂災害による、防災、減災に関する住民意識が高揚している。
○まち・ひと・しごと創生法案の流れによる、人口減少問題への対応と地域活性は重要な課題である。

アドミッションポリシー

【八丈高校 定時制課程の求める生徒像】

本校は「自主」「健康」「民主」を教育目標に掲げ、「生涯をたくましく生きる人材」「生命を大切にし、人権尊重の精神を身に付けた人材」、「何事にも意欲的に取り組むことができる人材」の育成に努めています。このことから、次に該当する生徒を期待します。

1. 自分の将来の進路、生き方についてよく考え、自主的かつ自律的に行動のできる生徒
2. 自らすすんで学習に取り組み、幅広い視野をもつことができる生徒
3. スポーツや文化活動、地域での活動などに熱心に取り組み、社会の発展に寄与することのできる生徒
4. 自分の意見をはっきりと述べ、また、他者の話をきちんと聞き、互いの人格を尊重できる生徒
5. 年齢にかかわらず、学ぶことのできる生徒
6. 島に留学し、就学就労しながら真の自立を目指す生徒

カリキュラムポリシーへ→

グラデュエーションポリシー

【地域、学校の目指す生徒の将来像】

これからの社会においてそれまでに経験したことのない変化を恐れることなくそれらを理解し、その変化に適応するとともに、社会の一員として生活するのに必要な基本的能力を有している姿。自己を守るために必要な公共機関による支援等を知り、健全で安全な生活を維持するためにそれらを十分に活用できる姿

ルーブリックへ →

八丈高校魅力化プロジェクト

ONLY ONE すべては生徒のために

「教育内容の充実と進路実績の向上」

アドミッションポリシーから ↓

新学習指導要領に基づいた教育課程により、魅力ある教育活動、進路希望の高いレベルの実現を目指し、
「わかる授業から自ら学びたくなる授業」へ授業の充実化を図って教育目標やスクールミッションの具現化を図る。



【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	目指すべき生徒の将来像
基本的生活習慣の確立 (思考力・判断力・表現力)	・時間を守るという意識を常に持つことで、現代社会では時間の管理が基本的な習慣として求められていることを認識できる。	・約束の時間を忘れないよう記憶媒体にメモをするなど、自分で様々な工夫をすることができる。	・定められた時間に遅れないという強い意識を持ち、実際の行動に移すことができる。	・約束の期日や時間までに十分な余裕をもって行動することができる。	・突発的な出来事による遅延や不都合にも余裕をもって的確に対応することができるよう準備を整えておくことができる。	<p>これからの社会においてそれまでに経験したことのない変化を恐れることなくそれらを理解し、その変化に適応するとともに、社会の一員として生活するために必要な基本的能力を有している姿。自己を守るために必要な公共機関による支援等を知り、健全で安全な生活を維持するためにそれらを十分に活用できる姿。</p>
公共マナーの遵守 (思考力・判断力・表現力)	・周囲の人々の働きかけにより、公共マナーを守る意識をもつことができる。	・公共のマナーを理解し、自ら守ろうとすることができる。	・他者の発言や行動に流されることなく自分の考えでマナーを守ることができる。	・マナーを守ることができていない周囲の人に、やさしく守るよう勧めることができる。	・マナーが守られていない状況に対し、問題意識を持ち、改善点を提案することができる。	
国際的協調精神の涵養 (思考力・判断力・表現力)	・世界には異なる文化や習慣、考え方を人々が満ち溢れていることを知ることができる。	・自分や自分の周りの価値観だけが正しいとは限らないことを知ることができる。	・異なる意見や考え方を知り、尊重することができる。また、他者の力が重要であることに気づくことができる。	・互いの意見や物事の考え方の違いについて言葉をういて語り合い、説明し、相互理解ができる。	・互いの意見や物事の考え方の違いを受け入れて、互いに共存できるような問題を円満に解決し、共生することができる。	
人間関係形成能力 (思考力・判断力・表現力)	・自分自身を大切にすることができる。また自分の周りの人を信頼することができる。	・依頼された仕事に対し真面目にコツコツと地道な作業をすることができる。	・他者の考えを否定することなく、自分の作業を継続することができる。	・他者の言動に対し、誤りを指摘し、円満に改善を促すことができる。	・周囲の人々と協調し、改善を図りながらよりよい人間関係を築くことができる。	
体力向上の知識と実践 (知識・技能)	・体を動かすことが健康に重要であることに気づき、関心をもつことができる。	・体を動かすことに関心を持ち、実際に体を動かし、運動することができる。	・体力を向上させる意欲を持ち、自分に必要な運動を選び、体を動かすことを楽しむことができる。	・運動の効果も考えながら定期的に適切な運動を行うことができる。	・周りの仲間と計画的かつ適度な運動を習慣化し、健康を維持することができる。	
情報収集能力 (知識・技能)	・わかったふりをせず、自分に必要な知識、情報について人に聞くことができる。	・自分に必要な知識、情報はどこで手に入るかを調べることができる。	・入手した知識、情報が信頼できるか慎重に判断することができる。	・信頼できる知識、情報を適切に活用することができる。	・自分が得た知識、情報を必要としている他者に正しく伝え、分かちあうことができる。	
自助力の養成 (主体的に学習に取り組む態度)	・自分自身の健康状態と経済状況を正しく把握することができる。	・自分の抱えている問題が何であるのかをきちんと分析することができる。	・自分の抱える問題をどのように解決すればいいのかを調べる力を身に付けることができる。	・身の回りの状況を正しく分析し、自分の問題をどのように解決すればよいか考えることができる。	・自分一人で抱えこまず、同じ問題を抱える人々と協力して解決しようとするすることができる。	
勤労意欲と不断の向上心 (主体的に学習に取り組む態度)	・なぜ働くのかその理由について自分で考えることができる。	・実際に勤労し、継続することができるとともに、勤労の意義を実際に感じることができる。	・現状に満足することなく、主体的に自身の知識と技術の向上を図ることができる。	・自己の作業を振り返り、問題点を見出し、改善のために工夫をこらすことができる。	・自己の作業について起こりうる課題、問題点を想定し、それらの解決に向けた対策を講ずることができる。	

グラデュエーションポリシーから ↑